

JRが提案する『地域との共生施設』の整備について

1. 『地域との共生施設』

- ・ JR東日本が信濃川発電所で過去に行った不正取水に関連し、「地域との共生」のために川口地域での施設整備（建設）を申し出てきたもの。
- ・ JRのPR（展示）スペースのほか、地域のコミュニティースペース（集会施設）としての利用を想定している。
- ・ 建設及び維持管理は、JRが負担する方向で協議している。
- ・ 候補地としては、西川口地内（川口橋西詰）を想定している。（市有地。一部県道敷地あり）

2. 現在までの状況

- ・ 5月18日開催の地域委員会と同20日開催の総代会議において、JRから「共生施設」の提案を受けていることを説明。
- ・ 整備内容について今後相談したい旨説明。
- ・ 総代会議において、西川口総代より「地域の集会施設が老朽化している。是非とも西川口地区の集会施設として利用したい」旨の発言があった。

3. 今後の議論のテーマ

- ① 「共生施設」の利用方法、整備水準、管理方法等
- ② 建設（候補）地の適否
- ③ 整備後の管理主体
- ④ 今回の水害を経験しての意見・要望

JR 共生施設構想位置図

